

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 日米協ギ (委)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): 日米協議委員会 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43724

そ
の
他

秘
無期限

北米局長
参事官
北米課長

北米課長 パネル表紙 会談
録

(北に日米協定委) (42.2.9)
半北

9日午後 北米課長は パネル表紙と相談し、沖
縄肉野事事項について電報 次の通り 会談した

(渡辺事務官 120 レイアウト表紙と同様)

1. GAP. パリリコ-遺骨収集 について

当方より トキガ. パー (別添1.) と交渉
現地官憲との連絡と依頼 について 先方より

政府取組 については 問題 ないが、新聞記者 について
は レポート. リリース であり、困難を予想 された

2. 協定 への 程度 深く 記者同行 を 希望 された

644

外務省

2. 協定 当日 取り について

当方より、臨時 については 3月1日 について
T.M. 予算 折衝、国会 等の 関係 については 確定 した

1. 交渉 については、大抵 2日 からは 不在 となる
こと については 関係 する 関係 がある こと である

2. 交渉 については、先方より、本 については 平報
し、その 交渉 については、2月 25日 には、問題 ない

3. 交渉 については、取組 については、先方 については 交渉
あり、交渉 については、先方 については 交渉 あり

4. 交渉 については、20~30 分 ほどの 交渉
あり、交渉 については、先方 については 交渉 あり

644

外務省

アル
本邦

百五
大尾

秘

（南洋の
非正式情報）

対沖艦援助に因する件 四三三三 共済会長

一 三百 沖艦協議会の凍止 大尾より半割の援助
 二 百 類のたりのブライス法改正を強く期待する事
 三 百 ならざるに對し 米を便は 対沖艦援助に及ばはイン
 フル（百）を譲り渡せしむ 留置の専断を及ぼす
 非正式情報 琉球

二 沖艦援助の凍止（凍止）は約三百億に
 かり約四百億同と増加する（予定）
 であり、
 米割援助約七十七億
 （これに對し）

外務省

（千九百万弗）が見込）オレと...

三 千九百万弗の凍止は、現行の上限千二百万弗

四十三億日）を二千五百萬弗（九十億日）に引上げよう

とすも、従って改正案が老朽しがたは、米

割凍止案の支障を来すの所なき、二、三程の

援助額に引上げに付、米割凍止案を及ぼす

米割凍止案

外務省

四 扱はは大屋よりいふことには、仲繩、揚子、陶、
イン、イン、インを考へ、きんぎょは現、群、群、ま、
群、於、於、於、於、於、於、於、於、於、於、
す、す、す、す、す、す、す、す、す、す、

説

一 ア、ガ、リ、考、考、考、考、考、考、考、考、考、考、
言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、

大、大、大、大、大、大、大、大、大、大、
近、近、近、近、近、近、近、近、近、近、

二 米、米、米、米、米、米、米、米、米、米、
海、海、海、海、海、海、海、海、海、海、
一 つ、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
説、説、説、説、説、説、説、説、説、説、

秘
無期限

沖縄に関する日米協議委員会
の第12回会合

議事日程(案)

昭和42年3月1日

1. 技術委員会提出の昭和42会計年度日本政府
対沖縄援助計画一覧表(一部昭和43会計年度
に支出されるものを含む。)
2. 沖縄船舶旗問題
3. 新聞発表についての合意

秘
無期限

The 12th Meeting of
The Japan-United States Consultative Committee
on Okinawa

March 1, 1967

Draft Agenda

Adoption of the Agenda

1. The list of projects submitted by the Technical Committee concerning the Japanese Government's Assistance Program to the Ryukyu Islands for JFY 1967 (the Program includes certain amounts to be financed in the first three months of JFY 1968)
2. The Question of the flag to be flown on Ryukyuan vessels
3. Agreement on statement to the press



情報文化局発表用資料

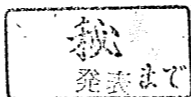
沖縄に関する日米協議委員会
第12回会合の開催について

昭和42.3.1

1. 沖縄に関する日米協議委員会の第12回会合は、昭和42年3月1日(水)午後3時45分から外務省で開催された。委員会には、日本側から三木外務大臣及び塚原総理府総務長官が出席し、米側からジョンソン大使が出席した。
2. 本日の会合では、本年4月1日以降に支出される日本政府の対沖縄援助計画に関する合意が成立した。この計画に含まれる日本政府の対沖縄援助は、この内容が日本政府予算に計上され、当該予算が成立した時点において正式に確定することになる。今回合意された援助計画案の総額は103億5276万8千円であり、これは琉球政府の1968会計年度(昭和42年7月～43年6月)中に支出されることとなるが、日琉間の会計年度の相違を考慮して82億1756万9千円は日本政府の昭和42会計年度予算に計上され、残額21億3519万9千円は昭和43会計年度中に支出されることになっている。なお、今回合意された援助計画の詳細は別紙のとおりである。

3. 1966年5月9日開催の協議委員会の第9回会合で外務大臣は沖縄住民とくに船舶関係者の間に、沖縄船舶に日章旗の掲揚を許可してもらいたいとの要望があることについて●注意を喚起した。しかしながら、日本政府が沖縄船舶に法律上の管轄権をもたない現状において、それらの船舶に日本国旗を掲揚せしめるには法律上相当の困難があることにかんがみ、外務大臣は米政府に対し、沖縄船舶旗のデザインを変更して、日章旗とその上に沖縄を示すなんらかの標識を併掲したものとすよう要請した。

米政府は、日本政府のこの要請を考慮し、その要請に伴う法律上及び実際上の問題について検討して来た。その結果協議委員会の本日の会合で、ジョンソン大使は、日本政府に対し米国民政府は、琉球列島高等弁務官の権限の下に登録されている船舶のために新しい船舶旗を制定する用意があることを表明した。この新船舶旗は、日本国旗と同一の旗及びその上に掲げられる白地に赤くローマ字及び漢字で「琉球」と書かれた細長い三角形の旗で構成されることとなっている。



Press Release on the 12th Meeting
of the Consultative Committee on Okinawa

March 1, 1967

1. The 12th Meeting of the Consultative Committee on Okinawa was held on Wednesday, March 1, 1967, from 3:45 p.m. at the Ministry of Foreign Affairs, Tokyo. The Committee was attended by Foreign Minister Miki and Director-General Tsukahara on the Japanese side and by Ambassador Johnson on the U.S. side.

2. At today's meeting, Japanese Government's aid program for Okinawa to take effect April 1, 1967 has been agreed upon. The Japanese Government's aid to Okinawa which is contained in this program will be formally established when the contents of this program are incorporated into budget plans of the Japanese Government and when these budget plans are approved by the Diet.

The total amount of the aid program on which agreement was reached at this meeting is ¥10,352,768,000. The sum is expected to be disbursed during RFY 1968 (July 1, 1967-June 30, 1968). However, in view of the difference in the periods covered by GOJ and GRI fiscal years, ¥8,217,569,000 of the total amount of Japanese aid is to be covered by the JFY 1967 budget of the Japanese Government and the remaining ¥2,135,199,000 is to be expended during JFY 1968. The details of the aid program are as set forth in Attached Documents.

3.

- 2 -

3. At the 9th Meeting of the Consultative Committee on May 9, 1966 the Japanese Foreign Minister called attention to the desire of the Okinawan residents, particularly those concerned with shipping, that Okinawan vessels be permitted to fly the Japanese flag. However, the Foreign Minister stated there would be considerable legal difficulties in having these vessels fly the Japanese flag since the Japanese Government does not have any legal control over them. For this reason, the Foreign Minister requested the United States Government to consider changing the design of the Okinawan vessel flag to include the Japanese national flag and some sign to indicate Okinawa to be flown on top.

The United States Government considered this request of the Japanese Government and explored the legal and practical matters involved. As a result, at today's meeting of the Consultative Committee Ambassador Johnson informed the Japanese Government that the U.S. Civil Administration is prepared to promulgate a new vessel flag for ships registered under the authority of the High Commissioner of the Ryukyu Islands, which will consist of a lower element identical in design with the Japanese national flag and an upper element consisting of a white pennant with the word "Ryukyus" in Roman and Japanese characters.

秘
無期限

大正
秘書官 五

北米局長
参事官
北米課長

次回沖能協賛委員会
関係にかへ

昭和42.2.16
米北

2月16日北米課長を来訪したガーレルン参事官は
沖能協賛委員会次回会合を3月1日に開催
するに於て承認を求めたが、北米課長より
予算折衝と国会審議の都合如何にかへは、
延期を申し出るにありしを以て3月1日
を目標期日とするに於て差し支えない旨答えておいた。
是の程、ガーレルンは、船舶旗にかへは、次回会合
までに合意し得るよう努めたが、大使館としても、強
く意見具申を以ていさ、先島、本島間の日航の運航
にかへは、たとえ日航に落ちた場合にも、領
土政治的考慮が決定されたに於て、遺憾を感ずる

GA 3

ため、日本政府側が政府レギュレーションの合致する
協賛委員会の上取り上げを以ては避けた。
このことがワシントンで意向であると述べた。北米
課長より、船舶旗にかへは、大正の強固
心があるに重ねて指摘する一方、日航運航
問題にかへは、もっぱら commercial ~~consideration~~ ^{consideration} による
決めたという建前を以て、この半側の意向は
理解し得る旨述べた。

GA 3

秘
無期限

本月1日午後2時から

総理、ジョンソン大使合談に
ついて報道関係者へ
説明あり。

米北長

本野秘書官と打ち合せの結果つぎのとおり。

1. 越日ブーンドバーグ大使との合談の際、ジョンソン大使より、バギオボの合談前夜、アジアの国際問題について、総理の御意見を承りて行きたこと希望の表明があり、今回の合談もまたその通り。

この趣旨であるから、本日の合談では、東南アジアの諸問題、食糧援助

問題、~~中~~の最近の情勢、紛争などの問題等について、互く意見の交換が行われた。

沖繩問題に因り総理の御

2. また、ジョンソン大使は、沖繩の

外務省

米韓米英合同協定に先立ち、日本政府の援助計画について最終的な合意が成立

したと、船舶旗問題についても、米側は日本側の意向に沿った解決を

希望している等と報告し、各々の沖繩問題についても話し合った。

GAO

外務省

昭和42会計年度(一部昭和43会計年度)の支出
 と昭和40を含む)の中央援助費対前年度比較

(単位 千円)

昭和42年度計画 昭和41年度計画 前年度増減

総額	10,352,768	6,160,971	4,191,797
1 通常援助計画	9,301,958	5,800,971	3,500,987
(1) 第1部門			
農業、林業及び漁業	1,445,900	1,024,493	391,407
(2) 第2部門			
交通及び公共土木事業	1,443,535	715,870	737,265
(3) 第3部門			
労働、福祉、厚生	1,770,709	1,080,620	690,089
(4) 第4部門			
教育、文化	4,167,285	2,907,260	1,260,025
(5) 第5部門			
技術援助及びその他	494,479	72,728	421,751
2 災害復旧特別援助	1,050,810	360,000	690,810